

「のむきのエゴマ」奨励賞受賞 ～県新事業フロンティア大賞～

エコミュージアム事業から野向町で取り組みが始まった「のむきのエゴマ」が福井県の第10回新事業フロンティア大賞の奨励賞を受賞しました（大賞は該当なし）。

野向町の取り組みが、農商工の連携に合致し、まちづくりにつながっていることと、健康ブームの中でエゴマの知名度アップへの期待が高く評価されたものです。

（株）のむきのエゴマ社長の石塚善榮さんは「高い評価をいただき喜んでいますが、同時にこれからの責任と使命感を感じる。」と語っていました。今後はブランド力を高め、販売ルートの拡大を目指します。

エゴマ油はゆめおーれ勝山でも販売しています。



表彰盾を持つ石塚社長（右）と藤井取締役（左）

エゴマ油

中学生にアユ釣り教室

8月8日に勝山市漁業協同組合が主催するアユ釣り教室が九頭竜川で行われ、市内の中学生12人が参加しました。勝山で生まれ育った子どもたちに、川に愛着をもってもらい、そして釣りの楽しさを知ってほしいという願いから企画されました。子ども対象のアユ釣り教室は、県内でもあまり例がないとのことでした。

「海釣りはやったことがあるけど、川での釣りは初めてです。」という生徒がほとんどで、前準備の仕掛けの作り方や、友釣り用のおとりアユのつけ方などを教わり、こわごわ川に入っていました。



さあ釣るぞ!

みんなでサッカーを!

今年4月から市内3つのサッカースポーツ少年団（南サッカースポーツクラブ、ヴィフ勝山サッカースポーツ少年団、北部Jrサッカークラブ）と市内3中学校のサッカー部が合同で練習する「サッカーアカデミー」が、毎週土曜日の午後2時から弁天グラウンドで行われています。

アカデミーを企画した北川喜樹さんは、「クラブや学校の垣根を取り払い、みんな同じレベルで練習・指導ができることがメリット。指導者のレベルも上がっていきます。」と、勝山のサッカーを盛り上げていこうという意気込みを語っていました。

なお、ちびっこサッカー教室も同時に行われています。



サッカーアカデミー練習風景

サッカー教室

東山で関学大生と交流

8月19日、20日の両日、今年で6年目となる「ワンダーフォーゲル in 勝山」が東山いこいの森で行われました。関西学院大学のワンダーフォーゲル部19人と市内の小学生30人が、ゲームやイワナのつかみ捕り、スポーツ、取立山登山などを通して交流を深めました。

19日は、「勝山の秘宝を探せ!」と題したオリエンテーリングが行われ、5班に分かれた子どもたちは、隠された秘宝へのヒントを順番に見つけては、書かれた暗号に頭を悩ませていました。



協力して暗号を解読する子どもたち

おめでとうございます!

山口 茜さん 全国大会優勝! 国外大会で準優勝!

8月15・16日に熊本県で行われた第10回全国小学生ABCバドミントン大会で山口茜さん（平泉寺小6年）が3年連続5度目の優勝を果たしました。



全国小学生ABCバドミントン大会でシャトルを追う山口さん

同じ上田コーチは話していました。山口さんは、これからの目標について、「日本の大会では優勝を目指し、国際大会でも勝てるようになりたい。いつかオリンピックに出て、勝つたい。」と少しはにがんで抱負を語っていました。



将来の夢を、はにかみながら語る山口さん

田邊章乃さん インターハイ準優勝! ～女子走り幅跳び～

8月1日に奈良県で行われた全国高校総合体育大会（インターハイ）陸上の部女子走り幅跳びで、田邊章乃さん（勝山高校3年）が準優勝しました。勝山市の女子陸上としては初の快挙です。

優勝選手との記録の差はわずか3センチで、悔しい思いもしたようですが、「自分の力は出せたと思う。」と胸を張って語っていました。



インターハイで重圧に負けず、好記録を出した田邊さん

8月10日に市役所を訪れ、山岸市長に準優勝の報告をし、市長から花束と記念品が贈られました。市長からは「プレッシャーもあったと思いますが、とてもよく頑張りました。これからも期待しています。」とねぎらいの言葉がかけられました。



山岸市長に優賞の報告を行った田邊さん